



週報

ロータリーは機会の扉を開く

2020～2021年度国際ロータリーのテーマ



No.01279 2020.7.20 第3例会

◆本日のプログラム

7月20日
クラブフォーラム
「創立30周年記念事業について」

◆次回のプログラム

7月27日
旧ひな壇慰労例会
(夜間例会・一楽)

Rotary Opens Opportunities

◆理事・役員 (2020.7～2021.6)

会 長	平 松 信
副 会 長	相 原 利 行
幹 事	鈴 木 一 生
副 幹 事	久 松 哲 生
理事・S.A.A.	野 田 洋 市
副 S.A.A.	児 島 正 典

会 計	西 岡 貞 則
理事・職業奉仕	橘 高 正 剛
理事・社会奉仕	原 全 伸
理事・国際奉仕	小 菅 英 司
理事・青少年奉仕	嶋 井 利 典
理事・会員増強	竹 本 千 代 子

理事・プログラム	入 江 直 人
理事・親睦活動	福 元 裕 之
理事・ロータリー財団	小 松 忠 男
直 前 会 長	山 下 浩 一
次 期 会 長	岡 本 浩 三

地区のスローガン 「こころの扉を開こう」

クラブのスローガン 「こころを一つに」

岡山北西ロータリークラブ

●例会場 岡山市北区駅元町1-5 ホテルグランヴィア岡山

●例会日 毎週月曜日 12:30～13:30

国際ロータリー 第2690地区 第9グループ
事務所 〒700-0902 岡山市北区錦町1-8 岡山県木材会館4階
TEL (086) 222-9590・222-0384 FAX (086) 224-4288
E-mail : hokusei@ok6rc.jp http://okayama-hokusei-rc.jp

友好クラブ 京都朱雀ロータリークラブ
E-mail:suzakurc@mbox.kyoto-inet.or.jp

ひな壇就任挨拶

○就任挨拶

副会長 相原 利行 会員

平松会長からご指名をいただき、まだまだ未熟ではございますが、岡山北西RC本年度の副会長に就任させていただきます。

副会長として、2つの立ち位置からクラブに貢献してまいりたいと考えています。

まず、平松会長と鈴木幹事を支えるという立ち位置です。

平松会長は、人格的にも経験の面からも私が何か申し上げることはありませんが、お忙しい方ですので、RCに関する会合に代理で出席する等の時間的なフォローをさせていただければと思います。

鈴木幹事は、本来であれば2、3年後に幹事を経験することが、彼自身にとって良いと思いますが、クラブの事情で早い時期に幹事に就任されました。幹事に就任することが決まってからクラブについて話すことが増え、しっかりされた方で、任せても問題ないと考えております。ただ、RCは事業が単年度であり、すべてが初めてのことばかりですので、一度幹事を経験している立場としてその時の反省をもとに導くことができればと考えております。

2つ目の立ち位置が、クラブ奉仕委員長になります。

RCの定款では、クラブ奉仕とは、「クラブの機能を充実させるために、クラブ内で会員がとるべき行動に関わるものである」と記述されています。

「クラブの機能を充実させるため」として、特に重点を置きたいと考えていることは、友好クラブとの交流の活性化です。以前に友好クラブ委員長をされていた、故 南業会員の友好クラブへの情熱を側で拝見させていただきましたので、その遺志を繋げて参ります。

本年度は創立30周年記念事業・記念式典があり、記念事業・記念式典自体は、堀川委員長をはじめとする実行委員会の皆さまが担うところですが、私としては、実行委員長・副委員長や各部会の部長、副部长以外の会員の方に、記念事業・記念式典の成功のために何らかの役割を担っていただけるよう、声をかけていきたいと考えております。

その中でも、南業会員同様に現在、原会員が情熱を持って取り組まれている、「あした彩」の活動支援を軌道にのせることが出来るよう、後方支援にはなりますが、尽力してまいります。

今年度1年間、何卒よろしく申し上げます。

○就任挨拶

副幹事 久松 哲生 会員

改めまして本年度副幹事を務めさせていただきます、久松です。よろしくお願ひいたします。

昨年度はカメラ小僧の様に、前をチョロチョロとさせていただきます。山下前会長、西岡前幹事、そして旧ひな壇の皆様には大変お世話になり、また原稿をいただきました会員の皆様、ありがとうございます。

さて副幹事の仕事についてですが、まだ全てを把握していません。例会の司会進行が主な仕事だと聞いてます。私が入会したときが日笠会員、そして次が鈴木現幹事、昨年度が森本会員でした。皆さま、良い声で進行されていましたが、私は声に自信がなく、お聞き苦しい点がございまして、ご了承ください。また、皆さまアドリブで時間を調整してましたが、私はアドリブが利きませんので、内部卓話等でお話をいただける会員の方々には、持ち時間をしっかりと使ってくださいませよう、お願ひいたします。

先週から進行役をさせていただいておりますが、既に失敗をしました。お恥ずかしい限りです。おそらく皆様お気づきだったかと思いますが、会長の点鐘を待たずに会長報告のアナウンスをしました。さらに進行の順番も間違え、会場からも「あれ、今年は流れが違うな」というささやきが聞こえてきました。脇汗がすごかったです。今後は、さらに準備を重ね、スムーズな進行ができるように努めて参ります。

司会進行といえば、今年度は30周年記念式典もございまして。式典の司会は、副幹事がするそうです、私が体調不良で逃げない限り、大役が回ってきます。先週、藤木会員から「マイクの持ち方がジャーニーズの様でした」といただきました。元スマップの中居君の様に式典の司会もそつなく進行して参ります。

副幹事の役目は、幹事を支えるという重大な役割もございまして。鈴木幹事は同級生ですが、細部まで行き届く気配りと、ただならぬ落ち着きを持っていますので、ロータリー歴の浅い私が「支える」と言うのはおこがましい限りです、特にすることは無いと思いますが、鈴木幹事の肩の荷が少しでも軽くなる様な働きができれば良いと思っております。

昨今のコロナ禍の中、今後も例会がどのようになるか分かりませんが、本年度のロータリーのテーマは「ロータリーは機会の扉を開く」です。例会だけではなく、奉仕の理想を行動へ移し、支援を必要とする人々の生活を向上する活動を行っていかねばなりません。平松会長が掲げるテーマである「こころを一つに」進めていくことができれば、より良いロータリー活動になると思います。そこに微力ながらお役に立てるよう頑張ってお参ります。

最後になりましたが平松会長、副幹事にご指名いただき誠にありがとうございます。そして、この1年で自分自身がどれだけ成長していかけるのかチャレンジして参りたいと思っておりますので、なにとぞ会員の皆様、1年間よろしくお願ひ申し上げます。

○S.A.A.就任挨拶

S.A.A. 野田 洋市 会員

本年度のS.A.A.(会場責任者)を仰せつかりました野田でございます。ロータリー歴はわずかに2年半です。同期入会には藤木会員がいらっしゃいます。また、ひな壇に学び舎を同じくする鈴木幹事、久松副幹事が居られ、頼もしい限りですが、2人とも息子と同年です。但し2人ともロータリーでは先輩ですので心から支えて参りたい。ご指名頂いた平松会長には感謝申し上げますが、ひな壇は大変な重責であると感じています。赤いタスキが少し重いですが前任の笠原会員には引き続きのご指導ご相談、ご鞭撻を賜りながら、また、有能な児島副S.A.A.の支援を頂き誠心誠意努力して参ります。月並みですが目標は2つです。1番目は例会をはじめとする全ての会合運営の充実です。例会はわずかに1時間足らずの概ね1時間です。皆様の貴重で重要な1時間が楽しく有意義となる様な会合運営に努めたい。その結果として例会出席率向上につ



ながればよいかと思えます。一方で来賓、ゲスト、ビジターがいつ来場されても礼を失することなく小さなことにも気を配り、マナーと品性を伴う例会運営を目指します。またこのような状況の中、必要と判断すればコロナ対策への安心安全策強化を実行致します。2番目は、スマイルの予算を達成することです。予算は168万円です。ロータリー歴の浅い私が今更申し上げる迄もなくスマイルは4大奉仕事業の運営を支え、また京都朱雀RCさんとの交流にも活用されています。まして本年度は30周年を迎えます。会員数は、やや伸び悩む中ですが、スマイルオークションやバザーの開催等を工夫して最大限努力をしております。ご協力を申し上げます。何かと手際も多いと思えますが宜しく願い申し上げます。最近、感じたことを1つだけ申し上げます。古き良き時代のイギリスにマーガレット・サッチャーという首相がいました。彼女はこのような演説をしたことで有名です。「我が国に社会なんかないわ。あるのは国家と国民、個人としての男、個人としての女がいて家族があるだけよ。社会なんかないわ」です。一方、今年、コロナに感染し生死をさまよって命からがら生還したボリス・ジョンソン首相は最初の演説で「There really is such a thing as society」社会はあった、確かにあった。とスピーチされました。多くの医療従事者に支えられ助かったからです。社会とは人と人のつながりです。平松会長のスローガン「ここを一つに」を実践して微力ながら1年間頑張ります。宜しくお願い致します。

○副S.A.A. 就任挨拶

副S.A.A. 児島正典 会員



新渡戸稲造は、その著書「武士道」の序文において、著名なベルギーの法学者ラブレー氏の家で歓待を受けて過ごした日のことについて書いています。

そこで、「あなた方の学校では宗教教育というものがないとおっしゃるのですか」と尋ねられました。私が、「ありません」という返事をする、ラブレー氏は驚きのあまり突然歩みを止められました。そして、容易に忘れがたい声で、「宗教がないとは、いったいあなたがたは、どのようにして子孫に道徳教育を授けるのですか」と繰り返されました。

その時、私はその質問に愕然としました。そして即答出来ませんでした。なぜなら私が幼いころ学んだ人の倫たる教訓は、学校で受けたものではなかったからです。そこで私に善悪の観念を作り出させた様々な要素を分析してみると、そのような観念を吹き込んだものは武士道であったことによく思いあたりました、とあります。

また、その本編で本当の礼儀とは、他者の感情を思いやる心が、目に見える形で表れたものでなければならない、と書いています。他人への配慮を考えた上で、感情を体で表したものと、こんな逸話を紹介しています。

たとえば夏の暑い日、あなたは何の日除けも持たずに、日差しの中を歩いていたらどうでしょう。

知人と出会い、あなたは彼に声をかけます。すると彼は、すぐに帽子をとって、あなたに挨拶をする。彼はあなたと話している間ずっと、持っていた日傘を閉じて下したまま、あなたと一緒に日差しの中で立ち尽くしているのです。

なんて馬鹿なのだろう。確かにそう思うかもしれませんが、けれども、あえてそうまでする動機と言うのは、次のようなことなのです。

こんな日差しの中なのに、あなたは何の日除けも持っていないのですね。もし私の持っている日傘が大きかったら、一緒に傘の下に入れてあげられるのですが。

この傘と一緒に使えないのであれば、せめて私もあなたと同じ不快感を味わいましょう。

現在の私たちは、この自分の日傘を閉じて下したまま相手と話をする彼を、おかしいと思うでしょうか。それとも、称賛するのでしょうか。

新渡戸稲造は、すでに明治の頃から武士道の未来を危惧していました。しかし武士道の精神は、不死鳥のように甦ることを予言し、次のように書いています。

武士道も、一つの独立した道徳の掟としては消え去ってしまうかもしれません。

けれどもその力は、この地上からなくなったりはしないのです。

武人としての勇氣や、文人としての名誉は、教育体系としては減じるかもしれませんが。

けれどもその光と栄光は、廢墟を超えて生き続けるのです。

武士道はその象徴である花のように、四方からの風に吹かれて散っていきます。けれどもその香りは人類を祝福し、人生を豊かなものにしてくれるのです。

何年もの年が流れ、武士道の習慣が葬り去られ、その名さえ忘れられる日が来ても、その香りは空中を漂っています。

「路辺に立ち眺めれば」、私たちは、はるか遠くの見えない丘から漂ってくる、その爽やかな香りを、いつでも嗅ぐことが出来るのです。

四つのテストも同じような性質があるのでは、ないでしょうか。

ロータリアンの中にも、四つのテストは極度に単純化された哲学であって、その有用性は疑わしく、相矛盾する趣旨からなっており、目標は非現実的である、と考える人達が誕生当時からのかもしれません。

1930年代に誕生して以来、90年近く歳月が過ぎ去った現代社会においては、四つのテストに懐疑的な人達が言うように、その有効性を失ってしまっているのでしょうか。それとも変化の速度の速い、この時代においても、事業や専門職に携わる人達の指針として機能するに足る洗練さを保持しているのでしょうか。

私たちの、体内に脈々と受け継がれている武士道が、ふとした瞬間に呼び起こされるように四つのテストも日々の生活において、また、ビジネスにおいて重要な決定をしなければならないような時に、その指針となるべきものです。

私たちが、例えば大きな災害が起こった時に、また、例えば大きなイベントを主催する時に、しばしば武士道精神が呼び起こされ一致団結するように、例会において、四つのテストを唱和する時、自分の行動を見つめ直すものとして四つのテストの精神が呼び起こされれば、良いと思えます。

例会に出席することで、会場に漂っているロータリー精神の香りを嗅ぎ取り、四つのテストをきちんと守っているかどうか、再確認できるような例会になれば良いと思えます。

本年度、副S.A.A.を拝命致しました児島正典です。1年間、どうぞよろしく願い致します。

前回7月13日の例会記録

出席の状況

会員数 46名(内出席免除者 0名) 出席者数 31名
欠席者数 15名 出席率 67.39%
欠席者 花房, 樋口, 堀川, 入江, 駒井, 三宅, 森本, 仲田, 西岡, 奥田, 田原, 竹本, 氏房, 山田, 横山

会長報告

会長 平松 信



この度の記録的豪雨により全国各地で被害に遭われた方々に、心からお悔やみを申し上げます。また、長引く大雨と新型コロナウイルス感染が収まることを願っています。

1920年にわが国最初の東京RCが創立されて、本年で創立100周年を迎えます。岡山北西ロータリーは創立30周年ですので、孫のようなRCです。

「RCというのは何ですか?」と尋ねられた時にどのように説明すればよいのでしょうか。

1976年国際ロータリー理事会は、ロータリーの基本的な特性を簡潔に定義する文章を提出しています。

「ロータリーは、世界中の事業および専門職務従事者からなる国際的組織で、人道的奉仕活動を行い、あらゆる職業における高い道徳的水準を奨励し、世界中で親善や平和を築くために助力している」

また、国際ロータリー理事会の依頼を受けた広報委員会では、次のように表現しています。

「ロータリーは、人道的な奉仕を行い、あらゆる職業において高度の道徳的水準を守ることを推奨し、かつ世界における親善と平和の確立に寄与することを目指した、事業および専門職務に携わる指導者が世界的に結び合った団体である」

どちらにも共通していることは、「あらゆる職業」、「人道的奉仕」、「高い道徳的水準」、「世界の親善と平和」ですが、ロータリーについて尋ねられた時には、ご自分の言葉で説明していただくことが大切です。

たとえば、当クラブに入会を考慮されている方に「ロータリーは、あらゆる職種の会員が人道的奉仕を行い、高い道徳的水準をもって、世界の親善と平和に寄与するための国際的組織です」と定義らしいことも言わせていただきますが、「RCに加入すればロータリアンとしての生きがいを実感できます」と本音を伝えて勧誘したいと思います。

幹事報告

幹事 鈴木 一生

- ① 米山記念奨学会より、高橋会員に米山功労者第6回マルチブルの感謝状、野田会員に米山功労者第1回の感謝状が届いております。
- ② RIテーマバッジを皆様に配付しております。
- ③ 第19回ロータリー全国囲碁大会のご案内、岡山済生会福祉施設合同広報誌「木もれ陽」№76春号、他クラブ週報を回覧いたします。



米山功労者第6回マルチブルの感謝状(高橋会員)▶
米山功労者第1回の感謝状(野田会員)

スマイル報告

平松会長：第1例会で過分なお心遣いのスマイルをいただきました。心から感謝申し上げます。会長として不行き届きが多いことを深くお詫びいたします。会員の皆様のご指導・ご鞭撻を何卒よろしくお願い申し上げます。

鈴木幹事：豪雨被害にあった方々にお見舞い申し上げます。

相原会員：本日就任挨拶をさせていただきます。よろしくお願い致します。

野田会員：九州豪雨で球磨川が氾濫して大きな被害を受けた人吉にもお世話になった方が多いので地元のシンボル球磨焼酎「白岳しろ」を飲んで支援いたします。

久松会員：先週、年度初めの例会の司会でミスをしてしまいましたのでスマイルします。詳しくは後ほどご挨拶にて報告いたします。

5件 16,000円 (累計 110,000円)

例会情報

本日のメニュー (7月20日)

焼八寸 蛸酢 岩蛸煮付 千枚胡瓜 若芽 利久酢味噌 紅蓼
(出汁巻玉子 染玉 セルフィーユ 炙り伝助穴子和蘭煮
小袖かまぼこ(白) 花茗荷酢取 茄子田楽焼 瓜南瓜焼浸し)
姫赤茄子 諸味噌(鬼灯鑄込み) ※内容変更あり)

御造り 鱸湯洗い 一献盛り 芽物一式

炊物 豚角煮 六方小芋含ませ 南瓜旨煮 落芥子 木の芽
小鉢 瀬戸内産真鯛 南蛮漬け 薄玉葱 針人参 和蘭芹

御飯 岡山県産こしひかり 赤出汁 滑子 若芽 葱 粉山椒

香物 白菜レモン 青しそ広島菜 黒糖良京 コーヒー



前回メニュー(7月13日):
スズキのロースト 夏野菜の煮込み添え

次のメニュー (7月27日) 旧ひな壇慰労例会特別メニュー